

JFM だより

Vol.12

※JFMとは、
Japan
Finance Organization
for Municipalitiesの略称です。

今号の表紙

熊本県熊本市 熊本市交通局 90周年記念車両「COCORO」

JFMトピックス	P1
【融資の実】熊本県熊本市 熊本市交通局	P3
がんばる公営競技	P7
自治体ファイナンス よもやま話	P9
地方支援ダイアリー	P11
基金運用ひとくちメモ	P13
JFM人事交流日記	P14
私たちもJFM債買ってます!	P15
JFMからのお知らせ	P15



地方の、地方による、地方のための



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities

JFMのシステムを一新しました！

JFMでは平成23年度から「効率性と正確性、発展性を兼ね備えた最適な業務体制の整備とシステムの構築の実現」という目的の下、「業務・システム改革(抜本的見直し)」を行ってきました。

この抜本的見直しは、ただ単にシステムの改修を行うだけでなく、①業務の単純化、簡素化 ②各課所管の見直し ③無駄な入力、帳票等の廃止など、JFMで普段行っている業務のフローを抜本的に見直すとともに地方公共団体の皆さまへのサービスレベルの向上を目指しました。

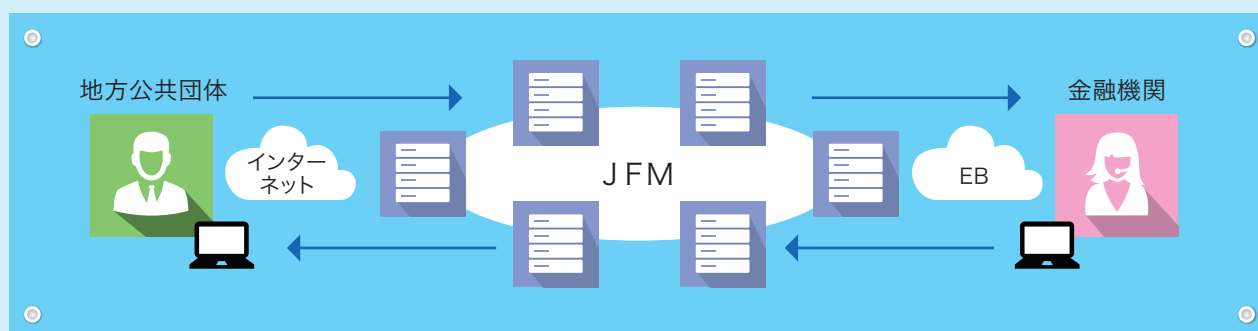
本年9月に本格稼働した新システムの概要を紹介します。



主な見直しの内容

1

多様な業務を効率的に推進できるシステムの整備



(1) 相互連携された情報システム

- システムで取引データを確定すると、取引パターンに従って、新財務会計システムで経理伝票を自動作成
- 借入予定額調と借入申込のデータを融資部と資金部で共有利用することで、資金繰り業務を確実に実行

(2) 利便性の高い情報システム

- 各課室が必要なデータをシステムで自動的にデータ取得し、共通データとして蓄積し共有
- 複数の端末を使用して行っていた業務が、一人一台の端末で全て対応可能

(3) 統合的なシステムの運用

- システム毎のデータ処理及びシステム間のデータの連携処理を一元管理することで管理の省力化を実現
- システムを担うサーバ機器及びネットワーク機器を統合的に監視することで、稼働状況や障害発生状況の一元的監視が可能



より安心
できるね！



JFM

- ・手作業による事務ミス防止
- ・システム改修の対応期間の短縮
- ・決算事務のスピードアップ
- ・二重入力などの作業負担軽減

新システム

地方公共団体の皆さまにも

- ・書類作成負担の軽減
- ・事務処理回数の削減
- ・繰上償還手続きのスピードアップ
- ・利便性の向上

このような
効果が出たよ！



2

事務の再検証、合理化及び省力化

(1) 主な事務処理
フローの改善

EB（エレクトロニック・バンキング）を導入することで資金移動のスピードアップ、回収事務の合理化を実現



省力化が
進んだね！

(2) 事務の合理化、
見直し

借入申込調書に「不用額報告欄」を設け、借入申込時に不用額を報告することで、不用額報告書作成が不要に

(3) 必要性の低い転記、
照合作業の廃止

● 従来、ExcelやAccessを使用し手作業で行っていた帳票作成は、システムから出力できるようになり、転記ミスを防止し照合作業も不要に
● 決算関連帳票の多くをシステムから直接照会・出力することが可能となり、決算事務が効率化

3

地方公共団体へのサービス向上

(1) インターネットでの
借入申込

電子申請・通知システムをインターネット回線により利用することが可能



詳しくは
JFMだより
11号を見てね！

(2) インターネットでのデータ照会

● 「借入実績」、「次回返済予定額」、「将来負担軽減額」、「償還年次表」等の情報をいつでも照会・ダウンロードすることが可能



● 「利率見直し債権に係る利率変更後の償還年次表」、「任意繰上償還に係る補償金」について、いつでもシミュレーションすることが可能





緑のじゅうたんを走る0800系超低床車

熊本県熊本市 熊本市交通局



市民に愛され90周年

～これからも親しまれる市電を目指して～

環境への優しさ、他の公共交通機関にはない利便性などから、今、あらためて注目を集める路面電車。市民の強い愛情に育まれ90年の歴史を迎えた熊本市電は、利便性・魅力向上を目指した地道な取組みと大胆な新車両導入により、今、新たな進化を遂げようとしています。



開業当初坪井川沿いを走る市電
(大正13年～昭和3年) 熊本百景絵葉書より

熊本を代表する風景、熊本城と市電

市

街地をクルマと並んで走る路面電車は、その街のシンボルとなっているものが少なくありません。札幌、函館、広島、長崎——、そして熊本。

熊本城をバックに収めた1ショットは、熊本を代表する風景です。

開業したのは、大正13(1924)年8月1日。平成26年に90周年を迎えた歴史の長い路面電車ですが、昭和40年代には廃止の危機に。モータリゼーションの広がりによる乗客数の減少や道路整備のため全線廃止の声が上がったのです。

しかし、オイルショックをきっかけにクルマ依存社会を反省する気運が高まったこと、何よりも長年にわたって市民の大切な足となってきた市電への市民の強い愛情により、市電の存続が決まりました。

一時は廃止の危機に瀕した市電ですが、近年ではCO₂の排出削減やヒートアイランド現象の抑制など、環境保護の面から都市部における路面電車の活用があらためて注目されており、存続した意義がさらに増すことになっています。

熊本市電は現在、熊本市の中心部を東西に結ぶ、健軍町～辛島町～田崎橋のA系統と、健軍町～辛島町～上熊本駅前のB系統の2系統を運行。朝夕の交通渋滞の影響を受けない定時性と、一律150円の手頃な運賃、路面電車ならではの利用のしやすさで、通勤通学、ショッピングなどの足として幅広く利用されています。

より愛される市電を目指すため

市

電が将来にわたり熊本の街を走り続けるため、平成21年度から経営健全化計画が始まりました(平成27年度までの7年計画)。

市電を運営する熊本市交通局はこれまでバス事業も手がけていましたが、これを民間事業者に移譲。平成26年度末ですべてのバス路線の移譲が完了する予定です。そして電車事業に特化する交通局が推し進めているのが、経営の効率化とともに、ハード面で利便性を高め、ソフト面で魅力を強化して、今までより更に市民に愛され利用し



日本初のサイドリザベーション

てもらえる熊本市電になること。

利便性の向上では、平成22年4月に熊本駅前電停～田崎橋電停間のサイドリザベーションを日本で初めて実施しました。サイドリザベーションとは、道路の中央部を走っている市電の軌道を端に移すもので、歩道からの乗り降りのしやすさが大幅に高まります。また、ICカード「でんでんnimoca」の導入、一部の電停でのバリアフリー化工事など、より利用しやすい市電になるための取組みが様々な角度から進められています。さらにJR熊本駅には平成23年から九州新幹線の乗り入れも始まり、新幹線から市電へ、そして熊本城やその周辺の繁華街へと移動しやすくなったことは観光客からも好評を博しています。

一方、ソフト面での取組みの代表例が平成18年から行っている「ビアガー電[®]」。これは7～9月の毎晩、1日1組限定の貸し切り電車で、車内の両サイドに窓に向かって座るバーカウンターを設けた、まさに走るビアガーデン。定員28名、1万8000円(飲食物は持込み)。手頃な料金で特別な体験ができることから大変な人気があり、平成26年の平均抽選倍率は30倍を超えています。

「お客さまのほとんどは地元の方です。私たちもこれを収益源にしようというより、市民の方たちに市電をもっと親しん



ビアガー電車内



COCORO二本木口上り

でいただきたい、楽しんでもらいたいと思って『ピアガーマ®』の運行を続けています」（熊本市交通局 総務課 主幹兼主査・松本光裕さん/「」内のコメント以下同）

冬にはLEDのイルミネーションをまとった市電が夜の街を豊かに彩り、母の日・父の日・敬老の日には車内が生花で装飾されます。車体に様々なラッピングをまとった電車の中にはバトカー風のデザインもあり、交通マナーの啓発にも貢献しています。「くまもと城下まつり」など街の大きなイベントの際には終日無料運行をするなど、市電は市民のことを第一に考えて運行されています。このことが市民に愛される市電の秘密なのかもしれません。

また、軌道上の一部区間に芝生が植栽されていますが、これは熊本市の環境局が主体になって平成22年度から進めている「市電緑のじゅうたん事業」に協力しているもの。緑化面積は順次広がっており、都市景観の向上やヒートアイランド現象の緩和などに役立っています。



父の日のフラワー電車

90周年を記念した新車両「COCORO」

街

中では、新旧の電車、様々なデザインの電車が頻繁に行き来して目を楽しませてくれますが、最も古い物では昭和26年から使われている車両もあり、老若男女に親しまれています。

しかし公共交通機関としての実用面、利便性を考えたとき、バリアフリー化への対応も早急に図る必要があります。熊本市電は、厳しい経営状況の中にあっても乗り降りのしやすい超低床電車の導入に努めており、現在は9700型・10両（5編成）、最新の0800型・6両（3編成）が運行しています。

「超低床電車は『平行式エレベーター』とも呼ばれていて、電停との段差がほとんどなく、車椅子でもそのまま乗り降りすることができますが、価格が高いため多くの車両を導入できないのが現実です」

超低床電車は、全54両のうち16両（8編成）と少ないのですが、お年寄りや身体の不自由な方の中にはこの電車が来るのを待って乗車する方も少なくないそうです。



0800系超低床乗の乗降口



平成26年10月、超低床電車0800型をベースにした新たな車両が走り始めました。熊本市電の運行開始90周年を記念したこの特別な車両は、JR九州管内で個性的なコンセプト、デザインの列車を数多く生み出し、最近でも九州新幹線「つばめ」や豪華クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」で話題を集める水戸岡鋭治氏が内外装をデザイン。車両名も特別に「COCORO(こころ)」と名づけられました。「『COCORO』の導入は、交通局だけでなく、観光局など他部局と協力することにより実現しました。市全体として取り組んだこの電車が走り始めることで、市電への愛着や興味がさらに高まることを期待しています」



「COCORO」は、熊本市の歴史・文化を感じる、懐かしくて新しい、伝統と誇りを表現できるデザインとしました。外観は一色で、黒に近い濃茶のメタリック塗装された車体に、伝統的な品格を金色のシンボルマーク、ロゴタイプを、飾り文字で表現し、在来車両との差別化を図り、豊かな路面電車を目指します。

内装には木を可能な限り使うことで「森と水の都くまもと」を表現。明るい木と濃い木を使うことで、一両で二つの空間を楽しんでいただけます。木の手触り、香りが今まで味わったことのないエコロジカルな路面電車は、心と身体で本当に心地良く、見えてくる街並も新しく再認識される路面電車となります。

ネーミング、ロゴタイプは、子どもからお年寄りまで、いろんな方が乗られるLRV*では、思いやりの「心」を大切に。熊本を訪れる観光客の方々には、おもてなしの「心」でお出迎えをしたいとの思いから、わかりやすさと覚えやすさ、見た目にもどこか優しさを感じられる、丸みを帯びた

「COCORO(こころ)」としました(*LRV:Light Rail Vehicle/軽量軌道用車両)。

水戸岡氏は実際に熊本の様々な場所に足を運び、市民とも語り合った上でこのコンセプトを練り上げたとのこと。歴史と文化に裏打ちされた風格があり、自然にも恵まれ「人・こと・もの」のバランスがとれた良い街である熊本。「COCORO」は90周年の記念車両として市外・県外からのお客さまを呼び寄せるにも十分な魅力を備えた路面電車となりました。

熊本市電は、今日も熊本市民のこの土地への愛と誇りを喚起する電車として走り続けています。



熊本市情報コーナー

熊本市は九州の中央、熊本県の西北部の位置にあります。

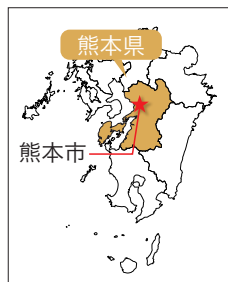
地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪火山群によってできた丘陵地帯、西部は白川の三角州で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気象条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

熊本市はサービス産業が中心の都市です。そのほか、IC産業の集積、全国でも高い生産性を誇る都市型農業、水産業など各種産業が展開されています。

熊本県熊本市情報コーナー

人口 740,204人 315,318世帯 (推計人口)
※推計人口は、平成26年10月1日現在です。
面積 389.54平方キロメートル



熊本市の公式キャラクター
ひこまる





ボートレースからつ

職員の意識改革で
ボートレース事業の安定化を図る



ファン感謝祭 佐賀支部選手(4106坂井康嗣)による
チャリティー かき氷&生ビール販売



ロイヤル席



スタンド外観

**「がんばる」
公営競技**

自治体や地域住民に貢献する公営競技

企業職員という意識をもって

佐賀県唐津市の「ボートレースからつ」は、1953年8月に初開催が行われた歴史あるボートレース場です。この「ボートレースからつ」では、平成25年度から、スピーディーな意思決定、自立的な経営手法や経営責任の明確化を図るため企業会計を導入しました。

「これまでのような地方公務員による行政的な手法ではなく、企業の目線で収益事業としてボートレース事業を行う。職員全員にそうした意識を持ってもらうことがまずは重要です。そして、全てにおいて数値目標を作り、結果についての効果測定も行う。これができて初めて企業会計の導入も活きるし、収益向上にも結びつきます。」(唐津市ボートレース事業部 日下義信部長：「」内のコメント以下同)

急な環境の変化に職員の戸惑いはあるものの、それをケアするのが活発なミーティング。目標設定や結果検証について、上下関係なく、皆が自由に議論し合うことで自ら考える風土が生まれ、意識改革は自然に広がり始めています。

「リスクの大きさを正しく判断した上で、取るべきリスクは取るようになって欲しいと思っています。そうでなければ、事業を伸ばすことはできません。もし失敗しても責任は我々管理職が負うし、失敗の中から学んで次に活かしてくれれば良いんです。」

また、現在地に移転した1975年当時は全国に先駆けた全館冷暖房の施設として注目を浴びていた施設も老朽化が進み、平成29年度以降に施設改修を行うこととしました。「30億円規模の施設改修を予定していますが、それを自己資金で行うにはいくら

の内部留保が必要なのかを見ずして収支計画を策定しています。いずれにしても、ビッグレースの誘致や景気といった外部環境とは関係なく、毎年3億円程度の収益をコンスタントにあげる事業体にしたいと考えています。」

ボートレースによる地域への活動支援

「ボートレースからつ」が自らの使命として認識しているのは、収益を確実にあげて唐津市の地域貢献に寄与することです。平成25年度には開設60周年記念切手の発行を行った他、地域の夏祭りへの協賛やファン感謝祭もスタートさせました。ファン感謝祭ではボートレースに馴染みのない市民も広く集め、夏の新たな地域イベントとして浸透しつつあります。また、市内外の様々なイベント会場などで、舟券が購入できる『舟券引換券』を配布し、新規ファンの拡大に取り組み、注目を集めました。長年のファンだけでなく、新規の方も引換券をきっかけとして、レースの楽しさを知ってもらい、リピーターになってくれることが狙いです。

最近の公営競技を取り巻く環境は大きく変わり「ボートレースからつ」も平成23年度から始めたモーニングレースでの電話投票が売上向上に効果を上げています。

また、ホームページを活用したレース直前の予想情報の更新やきめ細かな情報提供、LINE・Facebookによる新規ファン層へのイベント・ファンサービス情報及び選手情報の発信、レース番組の工夫により、全国の電話投票ファンへのサービスを充実させるなど、「ボートレースからつ」は地域に欠かせない収益事業として着々と足下を固めています。

Introduce.2

奈良けいりん

地元所属の女子選手3人が来春デビュー!! 競輪場全体のイメージアップに

今回は、佐賀県唐津市の「ボートレースからつ」と、奈良県内唯一の公営競技場「奈良けいりん」をご紹介します。「からつ」は、職員の意識改革や、WEBやSNSを使った新サービスなどに意欲的に取り組み、効果が出始めています。「奈良」はデビュー前の競輪学校女子学生「Future Girls」を様々なメディアで紹介するなど、新しいファン層の開拓に力を注いでいます。



Future Girls (右から3名が奈良所属選手)



コンパクトな33バンク

国際的な自転車競技にも対応「33バンク」

様々な古墳に加え東大寺や薬師寺、春日大社など奈良時代の史跡が集まる奈良市の北端にある「奈良けいりん」。開設した昭和25年当時は、すぐ隣に競馬場もあり、競輪場と競馬場、二つの看板が並んだ入場門の写真が今も残っています。その後、昭和29年に競馬場が廃止されて以降、奈良競輪場は県内で唯一の公営競技場となりました。

「一時は5つの自治体による共同施行だったこともありますが、昭和60年3月に奈良市が撤退したあとは奈良県の単独施行となっています。県が所有するこの競技場は「33バンク」と呼ばれる1周333mの小ぶりなバンクが特徴で、直線距離は小田原競輪場に次ぐ全国で2番目の短さです。4コーナーを回ってすぐゴールとなるため、ゴール前の激しい攻防とスピード感が魅力です」(奈良県営競輪場 加藤博場長:「」内のコメント以下同)

競輪場のバンクには1周500m、400m、333mの計3種類がありますが、33バンクは国際的な自転車競技に使われる施設にサイズが近く、平成20年にはアジア自転車競技選手権・同ジュニア選手権大会の会場として奈良競輪場が使われています。

未来を拓く「Future Girls(フューチャーガールズ)」

他の公営競技と同じく、売上の漸減は、「奈良けいりん」でも大きな課題となってきました。平成21年度単年度赤字となり、24年9月には事業の存続を含めて検討する「奈良県営競輪あり方検討委員会」が発足。数度にわたる委員会の結果、26年

度から競輪開催業務を包括委託することになりました。

「実は、記念競輪の売上の伸びや業界あげての協力などが功を奏し、包括委託に移る前の25年度には累積赤字を解消し、一般会計への繰り入れも行っています。今後の運営については、27年度の経営状況を見た上でその後の判断をすることになっていますが、現在の状況から判断すれば、奈良競輪場を継続することは可能だと思っています」

「奈良けいりん」には、新たな可能性が胎動をし始めています。近年人気が高まっているガールズケイリン。「奈良けいりん」から3人もの選手が巣立とうとしています。

「今、奈良の選手を師匠にする3人がガールズ4期生として競輪学校で学んでいるところです。他に福井の女子も1人いて、この近畿圏の4人を「Future Girls」と名づけ、県を上げて応援しています。競輪学校への入学時からずっとカメラで追っていて、様々なメディアで随時放映して浸透を図っています」

ガールズケイリンは、これまで競輪に馴染みがなかった人との接点としても有効で、ガールズ開催前には奈良県内の大型ショッピングモールなどで積極的なPRを行っています。今年の夏に行ったイベントは大いに盛り上がり、約3,000人も集まりました。その後行われた本場の来場者は2割ほど増え、家族連れやカップルの姿も目立ったとのこと。そして平成27年初夏には、競輪学校を卒業した「Future Girls」がよいよデビュー。その活躍が、「奈良けいりん」への注目につながるが大いに期待されます。



飛天ちゃん



資金管理改善に向けて 国東市の資金運用・資金調達 両面からの取り組み

赤松の里（世界農業遺産）
国東半島峯道ロングトレイル

ロングトレイルとは、登山道や古道をつなぎ合わせた自然歩道のことです。国東半島峯道ロングトレイルは全長134kmのグランドオープンに向けて準備が進んでいます。

大分県国東市の取り組みを、国東市
会計課の皆さんにご紹介させていただきます。

今回のプレゼンター
国東市会計課の皆さん



自治体ファイナンス
アドバイザー

根本 潤一郎

今回は、大分県国東市の取り組みを国東市会計課の皆さんに紹介させていただきます。国東市では、資金管理の効率化に向け、資金運用・調達両面での改善に取り組み、大きな成果を上げています。また、「財務活動管理方針」を作成することで、改善への取り組みの継承を図っています。

国東市のこれまでの状況

自治体では、運用は預金等中心の低い収益であり、調達は据置期間を長く取る長期固定金利での借入れのため、高い利息を負担しているという状況が普通にあると思われます。

国東市は歳計現金の平均残高約25億円、基金約118億円、借入金約290億円を有しますが、これは市民から託されたお金であり、この運用と調達の効率化は市の責務と考えました。

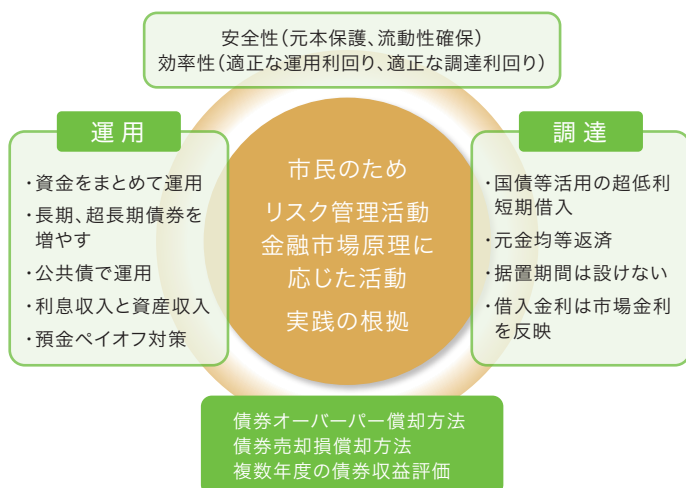
地方自治体の資金管理とは何か

地方自治体の資金管理とは何か、目的は何かという事業定義を実務を通じて考え、目的を阻むもの（＝リスク）は何かを実務を通じて見出し、実践の中で解決してきました。

資金管理活動の両面である運用と調達を一体的にとらえて、安全性に係る信用リスク、流動性リスク、金利変動リスク等の適切な管理を通じて、効率性の向上を図る仕組みづくりを目指し、その活動基準を国東市財務活動管理方針に決めました。

市の資金の実情を踏まえて、全国自治体の先進事例を調査し、民間金融機関に学び、良いものを取り入れ、新たな工夫を行いました。

【国東市財務活動管理方針】



■ 調達

資金調達の面では、早期償還を通じて借入利息を減らす取り組みを行っています。

短期資金は、「債券売り現先取引」と呼ばれる保有国債等を活用した超低利借入を行っています。このことが、運用資金の長期化の支えになっています。

また、長期借入では、借入期間の長さに比例して金利が高くなる性質に着目して、償還期間を短くするなどの工夫を行いました。選択できる場合は元金均等償還とし、据置期間は原則「ゼロ」としていますが、調達金利は国債等金融市場利回りを反映することを目標にしています。

■ 運用

資金運用の面では、資金の分断などの地方自治体特有のリスクへの対処や公共債等への運用商品限定や預金ペイオフ対策などを通じて、運用収益を増やすための取り組みを行っています。

個別に管理していた18基金の一括運用や、歳計現金の一体的保管により、資金をまとめることで、流動性リスクを抑制し、長期・超長期運用が可能な資金を増やしました。また、売却損失の償却やオーバーパー債券の償却に関する財務処理手法や複数年度での収益評価基準を整備しました。

これらにより、運用における個々の債券の売却損は費用であり、償却も可能であるという包括的な視点へ転換した結果、金利変動リスクによる保有債券の価格変動は対処できるものになり、長期・超長期運用債券運用を回避する必要がなくなりました。

なお、歳計現金についても、余裕資金の存在という事実から出発して、前例のない歳計現金の超長期債券運用を始めました。

■ 効果

運用は国債等の公共債で、平成25年度は、基金の運用収益は約2億1千万円、運用利回りで1.96%という実績を上げることができました。

調達は、改善を続ければ、支払利息の半減や債務の早期返済等の効果が生じます。

これからの取組み

国東市では、これから庁舎建設やクリーンセンター建設などの大型事業が控えており、金融機関から多くの資金をより低利で調達する必要があります。これからも財務活動管理方針にのっとり、そして地方公共団体金融機構の「出前講座」などの地方支援業務を活用しながら、引き続き運用と調達の両面から効率的な取組みを進めていきます。

国東市の紹介

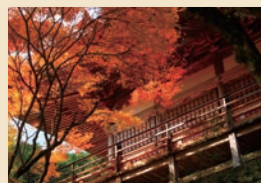
世界農業遺産の里「国東市」

国東市は、大分県北東部の国東半島の東に位置し、緑豊かな山並みや美しい海岸を有する風光明媚なまちです。平成18年3月31日に旧国見町、国東町、武蔵町、安岐町の4町が合併して「国東市」が誕生しました。

平安時代以来、六郷満山文化と呼ばれる神と仏が融合した神仏習合文化が栄え、多数の神社、仏閣、石仏も往時をしのぶ姿で残っています。

主な産業は、農・林・漁業です。キウイや大分味一ねぎやオリーブ等の特産品があり、タコ、太刀魚漁が盛んに行われ、「くにさき姫タコ」「銀たち」のブランドで売り出しています。

平成25年5月には、国東半島宇佐地域は、複数のため池を連携させ循環的に利用する農業で、国連食糧農業機関により世界農業遺産に認定されました。



秋の両子寺

世界農業遺産の里を歩く
「国東半島峯道ロングトレイル」

国内唯一の産地、七島イの刈り取り作業

国東市マスコットキャラクター
「さくくん」

国東市の概要

人 口	30,994人(平成26年1月1日現在)
世帯数	13,367世帯(平成26年1月1日現在)
面 積	317.8km ²
普通会計歳入総額	19,247,747千円(平成25年度決算)
普通会計歳出総額	18,868,084千円(平成25年度決算)
標準財政規模	13,129,965千円(平成25年度決算)
財政力指数	0.29(平成25年度決算)
実質公債費比率	11.5(平成25年度決算)
市ホームページ	http://www.city.kunisaki.oita.jp/



お手伝いします!



地方支援ダイアリー vol.12
地方支援を**利用**してみよう!

私達、地方支援部は“地方の地方による地方のための”をモットーに地方公共団体の皆様のお力になれるよう日々研鑽しています。今回は、東京大学と共同で行っているフォーラムと昨年度より実施しているJFMセミナーについて、ご紹介いたします。

JFMセミナー&フォーラムのご案内

▶▶▶ JFMセミナーとは?

地方金融に関する総合的な研究を推進するとともに、自治体の資金調達等のあり方を整理し、研究や議論の成果を自治体に還元するため、JFMセミナーを開催しています。先日福岡市で開催された、第3回JFMセミナーも参加者の皆さまにご好評をいただきました。今回は、今までのJFMセミナー開催内容についてご紹介します。

『第3回 JFMセミナー』

2014年11月5日(水) 福岡会場

「最近の地方財政の課題」

講演者: 佐藤 文俊 氏(総務省自治財政局長)



『第2回 JFMセミナー』

2014年9月10日(水) 仙台会場

「公共施設等の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策の推進」

講演者: 原 邦彰 氏(総務省自治財政局財務調査課長)

「仙台市の公共施設マネジメントの取組」

発表者: 中垣内 隆久 氏(仙台市財政局理事)



『第1回 JFMセミナー』

2013年11月21日(木) 神戸会場

「最近の地方財政の課題」

講演者: 佐藤 文俊 氏(総務省自治財政局長)

「地方支援業務の現場から見た自治体ファイナンス」

発表者: 堀内 聡 氏(地方公共団体金融機構自治体ファイナンス・アドバイザー)



講演・発表資料は機構HPよりご覧いただけます。

http://www.jfm.go.jp/support/useful_text.html



▶▶ フォーラムとは？

東京大学と共同で、地方金融に関する総合的な研究を推進するとともに、地方公共団体の資金調達のあり方などを整理し、研究や議論の成果を自治体に還元するためのフォーラムを開催しています。

目 的	地方金融に関する総合的な研究を推進するとともに、地方公共団体の資金調達のあり方などを整理し、研究や議論の成果を自治体に還元
概 要	東京大学とJFMが共同でフォーラムを定期的に行う
テ ー マ	自治体金融の課題と展望、地方財政における金融の意義・役割など
開催場所	東京大学内、地方都市

フォーラムの開催状況

『第二期 第5回 フォーラム』

2014年11月5日(水) 福岡会場

「住民参加型市場公募債と諸外国の 地方債市場の潮流」

〔発表者〕

大山 剛 氏(鹿児島県総務部財政課公債管理係長)

佐野 文久 氏(北九州市財政局財務部財源調整担当課長)

三宅 裕樹 氏(京都大学経済学部非常勤講師)

〔討論者〕

田中 俊次 氏(川崎市財政局担当理事・財政部長)

江夏 あかね 氏(株式会社野村資本市場研究所主任研究員)

『第二期 第4回 フォーラム』

2014年9月10日(水) 仙台会場

「震災復興に向けた地域の取組みと 自治体の資金調達」

〔発表者〕

目黒 康達 氏(七十七銀行地域開発部部長)

〔事例紹介〕

松橋 宏記 氏(宮城県総務部財政課主事)

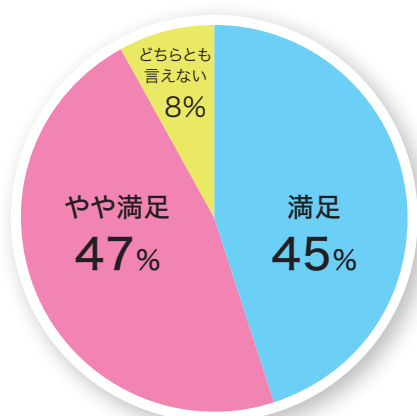
〔討論者〕

持田 信樹 氏(東京大学大学院経済学研究科教授)

中里 透 氏(上智大学経済学部准教授)

第4回フォーラム参加者アンケート

フォーラムの内容について



満足・やや満足が9割を超え、好評をいただきました

事例も含めて、様々な
情報や議論を聞くこと
ができて参考となった。
(地方公務員)

地域の特性や銀行・県
の状況と行動が分かっ
て参考になった。(証券)

地方銀行の業務内容
や復興交付金につい
て、興味深い話を聞く
ことができました。
(地方公務員)

震災復興に向けた、自
治体、地元金融機関の
取組み、現状について、
生の声を聞くことがで
きて参考になった。
(銀行)

お問い合わせやお申し込みはこちら

地方支援部 調査企画課/ファイナンス支援課

☎03-3539-2676 ✉ chihoushien@jfm.go.jp

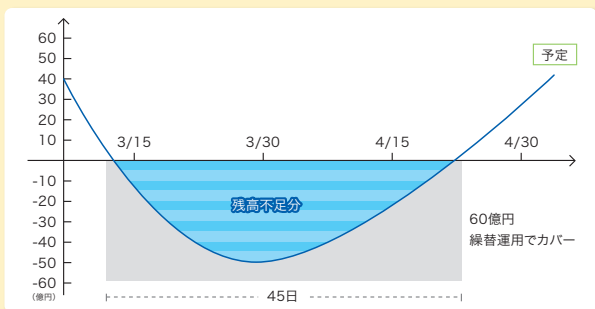


多くの皆さまに満足
をいただいております！

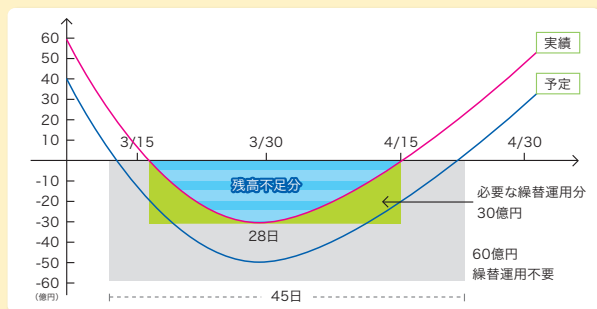
資金管理の精緻化で、 運用資金を確保しよう！

基金の運用を行う場合、避けて通れないのが、歳計現金不足時の繰り替え運用です。歳計現金が不足した場合の対応については自治体の80%が一時借入金より繰り替え運用を優先しています。つまり、基金自体が長期運用可能であっても、繰り替え運用の可能性がある場合は、繰り替え運用に備え、長期運用できなくなるケースがあるのです。そのため、歳計現金の残高管理を精緻化することは、長期運用可能な資金を確保するうえで、重要な要素となります。

資金管理が不十分だと

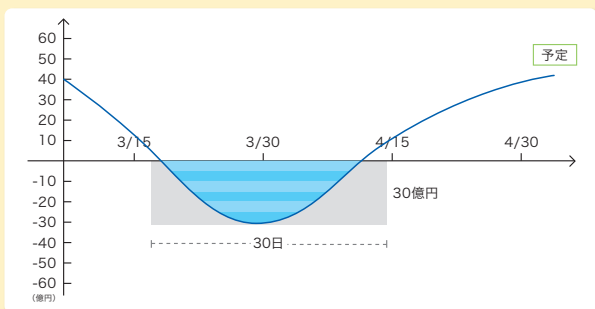


50億ぐらい不足しそうだから
念のため60億繰り替え運用しておこう。

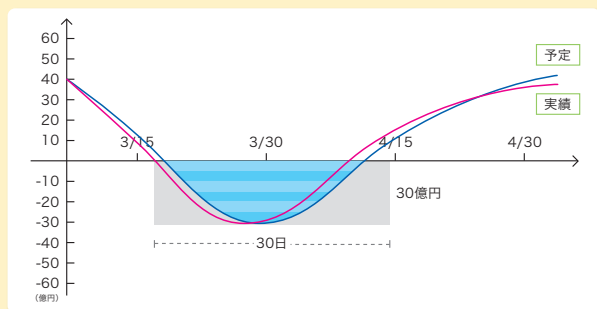


あれ、今年は入金が早くて不足額は30億ですん
だよ。繰り替え運用の期間も半分よかった。
60億円の繰り替え運用はいらなかったね。

資金管理をしていれば



今年は、例年と比べ入金が早いので、
繰り替え運用は30億円ですみそう。
残りは長期運用に回そう。



予想通りの残高推移だったね。
運用に回した30億円からは運用益もでたよ。

資金管理の重要性

このように、資金管理を徹底することで、繰り替え運用額を削減し、運用資金を確保することができる可能性があります。しかし、実際に資金管理を行う場合は、過去の歳計現金の推移を検証することはもちろん、関係部署からの入金と支払いの予定の正確な報告が不可欠であり、庁内全体で資金管理の重要性を共有することが重要です。

また、精緻な資金管理ができれば、残高が不足する期間金額を確定でき、一時借入金を低利で調達できる可能性があります。「一時借入金利息」が「長期運用の収益」よりも少なければ、一時借入金を活用することで、繰り替え運用を行う場合より効率的な資金運用を行える可能性があります。

経理課 渡邊 正行 山口県庁から派遣

経理課では、JFMの決算に関する業務を担当しており、財務諸表の作成等を行っています。

JFMでは、官庁会計でなく企業会計を採用しており、簿記の知識が必要なのですが、これまで簿記にまったく馴染みがなかったため、勉強の日々です。

JFMで仕事ができるのも残りわずかですが、ここで学んだこと、経験したこと、また広がったネットワークを今後フル活用していきたいと思っています。



融資管理課 上中園 健 宮崎県庁から派遣

融資管理課は、自治体への貸付金の管理を主な業務とし、なかでも私の所属する管理担当は、半年ごとの定期償還や繰上償還、債務承継などの事務（債権管理業務）を担当しており、債権管理業務の一環として、貸付金使途状況調査を実施し、貸付金が適正に使用されているか調査しています。

JFMでは、国、民間、地方から立場を超えて様々な人材が集まります。お互い刺激し合いながら、自治体の中だけでは味わうことのできない貴重な経験を通して日々過ごしています。



融資課 長谷川 稔 島根県奥出雲町から派遣

島根県奥出雲町から派遣されて2年目となりました。

融資課では、将来における貸付見込や貸付計画の策定等を担当しています。見込・計画の精度を上げるために、常に地方公共団体の要望を把握したり、国の政策等の情報を収集したりするなど、機動的に対応できるよう心掛けています。

JFMは全国各地の団体の方と接する機会が多くあり、その度に良い刺激や新しい発見に出会い、派遣元では得がたい貴重な経験をさせていただいております。

派遣期間も残りわずかとなりましたが、少しでも多くのことを学べるように日々励んで参りたいと思っています。



ファイナンス支援課 大久保 成彦 山口県萩市から派遣

萩市からJFMに派遣されて2年目となりました。

所属している地方支援部では、自治体の資金調達・資金運用のお手伝いをする『地方支援業務』に携わっています。

出前講座や実務支援で、全国の自治体を訪問させていただく中で、それぞれの自治体の課題に取り組む姿勢や、より良い資金調達・資金運用を目指す熱い想いを感じ、刺激的な日々を過ごしています。

JFMで仕事ができる時間も残りわずかとなりましたが、JFMで学んだこと、経験したことを今後の人生に活かしていきたいと思っています。



計画的な資金運用に JFM債の活用を!

- JFM債の購入資金は、地方公共団体へのご融資を通じて、地域に還元されています。
- 安全で効率的な運用のお手伝いをします。
- 定期的に発行している10年債、20年債のほか、運用ニーズ(金額、期間等)に応じた債券を随時発行しています。

私
たちも

JFM債買ってます!

島根県では、平成18年度より発行している全国型市場公募債の満期一括償還に備えて減債基金の積立を行っています。基金を安全かつ効率的に運用するためにラダー型の債券運用を行う本県にとって、JFMのFLIP債は非常に魅力的な債券です。

島根県は現在、縁結びで有名な出雲大社の「平成の大遷宮」などをきっかけに、全国から多くの方々にお越しいただいています。引き続き、全国の方々に島根の魅力に興味をもっていただけるよう、「神々」や「ご縁」をテーマにした「ご縁の国しまね」観光PRキャンペーンを展開しており、こうした取り組みなどを支えるため、JFM債の運用益を活用してまいります。



島根県

総務部 財政課 田中さんと
島根県観光キャラクター
しまねっこ

運は一瞬、
縁は一生。
ご縁の国しまね

JFMからのお知らせ

写真募集中 ▶



JFMでは、広報誌の表紙や、ホームページのトップページに掲載する写真を募集しています。

<http://www.jfm.go.jp/>

JFMに対するご意見をお寄せください ▶



「がんばる公営競技」のコーナーにつきまして、皆様からの記事募集を行っています。また、他のコーナーにつきましても、掲載希望や内容に関するご質問がありましたらお寄せください。

ご連絡先

経営企画部企画課広報担当

TEL:03-3539-2674

mail: info@jfm.go.jp